

6月

9月  
定例会

12月

3月

# むらやま 議会だより

2018

vol.99

2018年10月15日  
発行



# 万円を認定

## 前年度比約2億1,203万円の減

**平** 成30年第3回定例会は9月3日から21日までの会期で開催され、29年度決算などを審議を行いました。

一般会計の主な事業は東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたホストタウン事業・子育て支援医療給付事業・民有林林道整備事業・除雪事業・救助工作車整備事業などで歳出は132億8884万円となりました。

前年度に比べて歳入で2751万円、歳出で2億3955万円の増となり、差額の繰越額は2億1203万円の減額となりました。

他に特別会計決算として7件、歳出合計7億5980万円の認定を行いました。

29年度決算のほか、条例の一部改正など4件、補正予算5件が提案され、決算9件は決算特別委員会に付託し、全議案原案のとおり認定・可決し閉会しました。

### 条例等

◎村山市児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

楯岡五日町に児童遊園を新たに設置することに伴い改正を行うものです。(賛成多数により可決)

◎教育委員会委員の任命について

蒲原 良治氏(再任)

◎固定資産評価審査委員会委員の選任について

大沼 廣志氏(再任)



開通した大石田村山インター周辺

### 請願

◎人権擁護委員候補者の推薦について

高橋 春實氏(再任)

◎財産区管理委員の選挙について

大久保・富本・袖崎財産区管理委員21名を選任

◎種子法廃止に伴う万全の対策を求める請願

(賛成多数で継続審査)

◎日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願 (賛成少数で不採択)



# 平成29年度 一般会計決算総額

# 132億8,884

## 繰越 5億9,621万円

### ポイント

- ふるさと応援寄附金として5億7617万円の寄附をいただき、返礼品として3億5770万円分を配送しました。
- 中学生以下の医療費自己負担に8458万円を助成し、子育て支援を行いました。
- 多面的機能支払交付金として市内12団体に対し維持管理や補修等にかかる費用の一部を負担しました。

- 企業の立地・設備投資を促進するため、市内に工場、機械などを新設・移設・増設した法人・個人に補助金を交付しました。
- 老朽化した消防署の救助工作車Ⅱ型を更新し、消防力の充実を図るとともに、複雑多様化する救助事案への対応強化を実現しました。



更新した救助工作車Ⅱ型

### 29年度の主な事業

★楯岡小学校改築事業	6億8,403万円
★除雪事業	3億4,146万円
★救助工作車整備事業	1億724万円
★夢応援奨学金事業	2千490万円
★東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業	2千299万円
★新設保育園施設整備事業	1千700万円
★買い物バス運行事業	1千222万円
★Jアラート新型受信機導入事業	648万円
★小型除雪機購入費補助事業	343万円
★姉妹都市交流事業（ヤクーツク市・バリー市）	337万円
★GOGOむらやまインターナショナル・キッズ事業	97万円

# 決算特別委員会



決算特別委員会委員長

海老名 幸 司

本委員会は、予算の執行が適正かつ効率的に行われてきたか、また施策や事業の目的がどの程度達成され、市民サービスや福祉の向上にどのよう貢献したかなどの観点から慎重に審査を行いました。その結果平成29年度決算については、原案のとおり認定すべきものと

## 総務文教分科会

●大雨・洪水による水害には、土嚢が必要不可欠ですが保管場所や手続きなど、周知不足が否めません。ハザードマップへの掲載や市民センターとの連携など、周知方法や防災意識の向上が図られるよう要望します。



林道の土砂災害（山の内）

と決定しました。決算全般について申し述べると総合計画三年目として、「次世代へ引き継ぐ魅力のある村山市」の実現に向かって一定の進捗があったものとして評価するものですが、一方において厳しい財政状況下、経営感覚をもった財政運営に努められるよう希望します。

●災害時には、食料と同時に飲料水も必要不可欠であることか

ら計画的な運用と備蓄の確保を要望します。

●狩猟には限界もあり捕獲が一番の有効策であることから機材などへの助成を要望します。

●市内を走るバスの運行については、路線や料金も含め、住民のニーズを調査分析し、実情にあった運用になるよう要望します。

●ふるさと納税については、産地の問題など課題も多くありますが、返礼品の見直しなど精力的に取り組んでいただくよう要望します。

●学校施設については冷暖房設備や電子黒板、タブレットなどの情報機器の環境整備が急務です。長寿命化計画などで検討し、学校ごとに差が生じないよう計画的な運用を要望します。

●オリンピック・パラリンピックを二年後に控えブルガリア選手団のホストタウンとして村山市民全員で盛り上げていく方策の検討を要望します。



ブルガリア選手団

●さくらんぼについては高齢化により樹木の伐採や人手不足の声が聞かれます。次の世代に引き継ぐ取り組み、やめる人からやりたい人へ、そんな「つなぐ」仕組みづくりの検討を要望します。

## 産業厚生分科会

●定住対策の一つとして取り組んでいる住宅リフォーム補助は、地方創生事業を推進するためにも空き家対策とあわせて取り組み、定住者の増加に繋げていただくよう要望します。

●福祉の制度は年々複雑になっていきます。業務を社会福祉協議会と連携して行っていますが、定期的に精査し市民生活の向上に取り組むよう要望します。

●台東区のふるさと交流ショップは区民へ大変好評のようです。台東区からも大勢の方が村山市に来るような友好都市としての、一歩進んだ交流の仕掛けや方策の検討を要望します。

●乳幼児の予防接種については、様々な取り組みと市独自の取り組みに対し評価します。さらなる負担

軽減のため、「ロタウイルス」についての新たな助成の検討を要望します。

●子育て世代にとって病児保育は、非常に力強い支援となっています。市内一か所の設置ですが、施策の拡充として施設の誘致の検討を要望します。

●病気の早期発見のため、検診の受診率を向上させるとともに結果のおもしろいかなった方への受診勧奨や指導など、積極的な働きかけを希望します。



病児保育が行われているベテスタ（湯野沢）





正 城 結

### 東北中央自動車道の事業計画変更に伴う影響は

答弁 完成時期の明示はない

**Q** 2020年頃開通と言われていた東北中央自動車道の開通が遅れるようであるが、状況はどうなっているのか。

**A** 南河島地区は、超軟弱地盤であり、「カードボードドレーン工法」では、開通後も長期間沈下が発生し、維持管理・補修が困難であることから、「真空圧密工法」で施工することにになり、時間もかかり、工事費もかかるようになった。

これまでは国土交通省は、完成時期を明示しなかったが、4〜5年遅れの開通になるのではないかと考えている。早期開通にむけ、これまで以上に国土交通省や関係機関に要請していく。

**Q** 開通が遅れることにより、大石田村山インターの土生田十字路付近の混雑、交通量の増加による交通事故など、多くの問題が出てくると思う。

工事期間が延びることによる、西郷地域内

における工事車両の出入りの通学路や地域住民への影響など、長期間続くようになる。市の対応を伺う。

**A** 地域の住民・市民に迷惑をかけないように配慮していく。



今年度中の開通が見込まれる東根北インター付近



海老名 幸司

### 高速道開通までの事業計画は

答弁 従来通りの計画に沿っていく

ているか。

**Q** 高速道路の開通時期の見通しは、大平平成34年〜35年くらいとの答弁があつたが、従来は平成32年頃を見通して道路整備などの事業計画を立てていたと思われる。そこで少し開通時期の見通しが遅れたことによりインター周辺の工事を後にずらし、13号線沿いや市役所周辺を早期に着手する方法もあると思うがどのように考えているか。

**A** 従来通り3か年計画に沿っていきたくないと考えている。

**Q** ローズブリッジの問題などもあり、高速道路開通に合わせ道の駅を新たに建設するかどうか考えざるをえない状況にあると思うが、どのように考えて

持できるかなど、様々な悩んでいる状況下にある。少し時間をかけて考えてみたいと思っている。

**A** 道の駅を新たに建設するとすれば産直施設を併設したいと考えているが、周辺状況や安定した経営を維



道の駅むらやま 諸問題を抱えるローズブリッジ

## 一般質問

9月5日、6日、7日 12人の議員が一般質問を行いました。



犬飼 司

## 教育施設にエアコン設置を望む

答弁 他の計画と合わせて

実施していく

**Q** 猛暑の続く近年、子どもの命を守るため教育施設にエアコンは必需品ではないかと考えるが。

**A** これからも暑い夏が続くのではないかと感じており、冷房は必要だと考えている。急いで資金の手当てをしなければならぬが、他に計画もあるので計画と合わせて国と歩調を取りながら早急に実施していく。

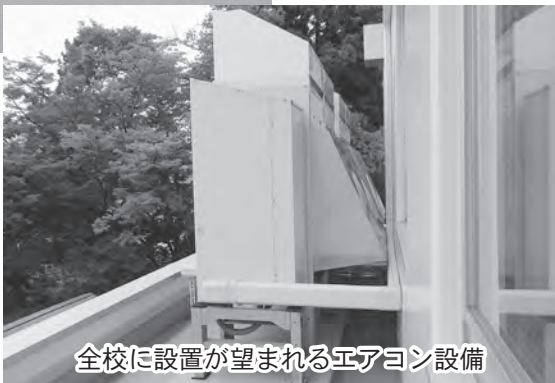
**Q** 自治公民館は子どもから老人まで幅広い年齢の方が利用する場所であり、地域の活性化と融和や連帯を強める大事な施設である。冷房設置に補助金は考えられないか。

**A** 今年4月1日に改正を行ったバリアフリー化の改修に該当

し、事業費10万円以上で30%の補助金を受けられる制度がある。

**Q** 市民生活に大きく影響のある雪であるが、降雪時期前に地域毎に除雪説明会を実施している。市民に寄り添い※PDCAサイクルを確実に回していくために、シーズン後の反省会や意見交換会が必要ではないか。

**A** 苦情や要望についてはその都度対処しており、秋にまとめて業者に話をしている。シーズン後の意見交換会は考えていない。



全校に設置が望まれるエアコン設備



菊池 貞好

## 学校給食の地産地消は

答弁 できるだけ学区内から納入を

**Q** 学校給食における地産地消の取り組みについて。

**A** 29年度の消費については、村山産はえぬき一等米100%を使用している。野菜は県産材を40%、果実は60%、生肉は50%、きのこ大豆加工品は50%使用しており、山形県食育地産地消推進計画の数値目標をクリアしている。小学校の自校給食においても地域密着型を目指し、野菜の供給を市内全校で545回23品目を地元から納入している。できるだけ学区内もしくは、市内より納入する指導をしている。

**Q** 給食への異物混入の対策について。

**A** 29年度は小中合わせ31件の異物混入があった。対応マニュアルでは、事故があった場合は学校長が教育委員会に連絡し、給食停止もありえる。

**Q** 食物アレルギーの安全対策はどのようになっているのか。

**A** アレルギーを持つ児童は小学校33人、中学校10人いる。新学期が始まる前に保護者からの連絡と面談を行い、献立が決まる2か月前に材料の成分表を保護者に配布し確認後に、業者に確実な発注をするように指導している。



地産地消がのぞまれる学校給食





菊池 大二郎

### 個人情報の流出を防ぐ指導環境の整備を

答弁 可能な限り、早く進めたい

**Q** 小中学校約160名の教職員が職務上使用するパソコンは個人所有のものか。

**A** 市からの提供は各校5台程度。それ以外は全て私物である。

**Q** 個人情報の流出防止の点からも環境整備が必要ではないか。

**A** 教職員用のパソコン配備や子ども用のICT化に向けて、可能な限り早く進めていきたい。

**Q** 8月の豪雨を受けて、防災計画で至急対応すべき点は。

**A** 土砂災害や大規模洪水に備えた市職員の体制づくり。

**Q** 年間913万人のファンづくりを目指しているが、実際の交流人口数の把握は。

**A** 27・28年度は約162万人。29年度は約146万人。

**Q** 村山西口ホテル（経済効果を念頭に）の決算状況を検証しているのか。

**A** 特段、確認していない。

**Q** 余暇開発公社に観光物産協会や歴史文化部門（生涯学習課所管）を一括させ、企画力のある民間理事を採用し、一体的・一元的な組織を形成してはどうか。

**A** 小さいところから始めていきたい。



矢 萩 浩 次

### 大雨・集中豪雨による災害への対応は

答弁 総合的に早目の判断が重要である

**Q** 今後予想される豪雨による本市の洪水浸水の想定について。

**A** 最上川右岸（東側）の堤防が決壊し、浸水した場合の最大規模の想定は、現在配布のハザードマップより拡大し、JR線を超える範囲となり、浸水深は最高10m、浸水継続時間は沿岸で最長二週間、市庁舎周辺では、最深3.9mと予測している。

**Q** 洪水が発生もしくはは発生が予測される場合の対応について。

**A** 地域防災計画に沿った対応を基本とし、総合的に早目の判断ができるよう情報収集が重要である。

**Q** 災害発生時の消防署の対応、緊急通報への対応について。

**A** 浸水の恐れがある」と判断した時点で、最上川を挟み東西の行政施設に緊急車両を分散、災害拠点として人員も相応に配置する。不足の場合は近隣機関に応援を要請する。庁舎が浸水し使用不能となった場合、緊急通報は別施設に迂回受信が

**A** 浸水の恐れがある」と判断した時点で、最上川を挟み東西の行政施設に緊急車両を分散、災害拠点として人員も相応に配置する。不足の場合は近隣機関に応援を要請する。庁舎が浸水し使用不能となった場合、緊急通報は別施設に迂回受信が

**Q** 減災への取り組みについて。

**A** 災害はどこに起こるか分からず難しい面があるが、計画に沿って少しずつ着々と進めて行く。



児童・生徒のみならず指導する側の環境整備を



前期工事が完成した長島地区堤防



高橋 菜穂子

## 市民にも選ばれる宅地造成を

答弁 計画的に進めたい

**Q** 子育て支援と母子保健事業の窓口を甌葉プラザ内や周辺に整備してはどうか。

**A** 学童保育が使用していたスペースに妊娠から出産後まで一か所で相談できるように体制を作れるように調整をしていく。

**Q** 乳幼児の予防接種のうち任意接種であるロタウイルスの予防接種への助成を検討してはどうか。また、児童手当や医療費無償化の対象から外れる16歳から18歳までの期間にも受けられる子育て支援を求めます。

**A** 今後の方針と合わせて検討する。

**Q** 若い世帯の市内からの転出を抑えるために、便利な楯岡地区の宅地造成を計画的

に進め、市民への周知

を早めに行うことを希望する。また、新築やリフォーム補助など住宅支援策には、父母世帯が近くに暮らす場合に適用できる近居要件を追加して三世代の市内への定着を促進して

はどうか。

**A** 土地開発公社で販売した鶴ヶ町スマイルタウンは、全区画契約済み。渋田地区に平成32年度の分譲を予定している。その後も、小規模な宅地の造成を順次進めていく。



区画整備予定の渋田地区



中里 芳之

## 地震マップ作成と減災目標の設定を

答弁 重要なこと 検討する

**Q** ①土砂災害や洪水のハザードマップ

はあるが巨大地震を想定したものはない。早急に作成・周知を。②市防災計画には、何の被害がどの程度いつまでに軽減するのか、被害軽減の目標値がない。目標値を設定した戦略的な対策を。

**A** ①そのような方向で検討する。②大変重要なこと。計画に盛り込むかについては今後検討する。

**Q** ブロック塀の危険度の調査や、撤去・解体・改良に支援を。またどの学校に拡大するのか。

**A** 来年度から実施する方向で準備を進めている。

**Q** 昨年3月、市は小規模企業振興基本

条例を制定したが、それをもっと生かして実

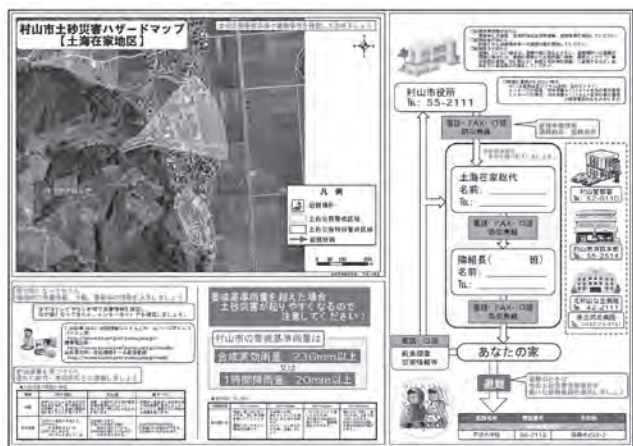
のあるものにするために、振興計画の策定を。県内で振興計画を策定している自治体はない。今ある制度を活用して条例を成就していく。

**Q** 小規模企業者の主な要求は「仕事の

**A** 支援情報は自分から取りに行くもの。

確保」「事業継続への

支援」「後継者問題」。事業継続への支援」では一定の前進はあるがまだまだ支援は十分。小規模企業者の全数調査を行い政策づくりを。



村山市土砂災害ハザードマップ





川田 律子

### ハザードマップは配布だけでなく説明会を

答弁 周知だけでなく説明会を  
開催していく

**Q** 本市の洪水ハザードマップは3月に完成とあるが、いつ頃市民に公表するのか。

**A** 周知と同時に、町内会集落ごとの説明会が必要と考えるが。

**Q** 市民にマップを配布するだけでなく周知することが重要である。各地域ごとの説明会や出前講座などを開催する予定である。

**Q** 8月の集中豪雨で本市の被害状況と対策について伺う。

**A** 市道は5か所、林道は7つの路線で土砂崩落などの被害があった。農作物は市内全域でそばに約20haの浸水被害、ビニールハウス1棟の浸水被害、畦畔の崩落10か所が確認されている。対策についてはこのたびの豪

雨で県は総合支援対策として、被害に対し農薬や肥料、そばの再播種、ビニールハウスに2分の1の補助が決まった。

**Q** 小中学校のエアコン設置については本市は遅れをとっている。他市では、あと1

〜2年で終了予定の所が多い。職員室や特別教室に一つもエアコンのない学校も複数ある。早急な対策をとるべきではないのか。

**A** 今までの計画にプラスアルファで考えていく。



8月6日 大雨後の蟬田川



石澤 祐一

### 多面的支払交付金をもっと使いやすく

答弁 二期対策に向け要望する

**Q** 農業・農村は国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等の多面的機能を有し、利益は広く国民が享受している。しかし、近年の農業農村の過疎化や高齢化・混住化などの進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の發揮に支障が生じつつあり、共同活動の困難に伴い、担い手農家の負担の増加も懸念されている。そこで国では多面的支払交付金を法制化して地域の共同活動を支援することになっている。今年で5年経過し今後の課題と見通しについて伺う。

**A** 事務量が多く、来年度から二期対策

となるため、もっと使いやすいものになるよう県に要望していく。

**Q** 市民体育館では今後2か年間ブルガリア新体操『ローズキヤンプ』と来年、市制65周年を記念して8月11日に大相撲夏巡業を計画しているが、今後

も暑い夏が続くと予想もありエアコン設置の計画について伺う。  
**A** 今夏の市民体育館で熱中症は3名いた。エアコンは今年の補正で設置する。予算はスポーツくじより助成される予定である。



多面的機能支払交付金での農道草刈り作業



大山正弘

## 本市の観光交流資源とは

答弁 代表的なものは

そば、バラ、徳内まつり

**Q** 本市の特色ある観光資源とは何か。

**A** 村山市の観光における三大資源は、「そば」「バラ」「徳内」である。農作物「さくらんぼ」「スイカ」なども観光資源であり、最近では東京五輪のホストタウン事業として「ローズプロジェクト事業」を展開しており、バラ関連の新商品開発が行われている。

**Q** 民間事業者を開発に誘導する事業とは。

**A** 駅西開発エリアへの開発を誘導するために、特に駅西開発を進める上で、ヤマザワ北側の2.5haの範囲に限定した補助金を想定したもので、開発を促す積極的な支援策のひとつとして考えている。



勢いある本市の景観（東沢バラ公園）

るところである。

**Q** 各地域市民センターからの要望は。

**A** 過去3年間の要望書はまちづくり協議会では95件中8件であり、今後地域市民センターに要望の相談については担当課と対応

し今後も継続する。

**Q** 各組織の要望についての対応とは。

**A** 要望書は、紹介者の有無にかかわらず、総務課で受付し、担当課長と内容を検討し、結果を文書で改めて回答している。



森一弘

## 人口減にあった交通のインフラ整備を

答弁 新たな運行経路を含め

検討する

**Q** 人口減・高齢化。この時代に合ったインフラ整備をすべき。

**A** 市民バス・買物バス運行は的を射ている。市民は、健康・福祉・子育てを相談したいが市役所に行くのに足がない。救う方法がいま一つだ。市民は同一サービスを受けるべきだ。山交利用しできない、大久保・袖崎の運賃は倍以上。松本市では、70歳以上はパス券で民間も含めバス路線を平等に利用しているが。

**Q** 新たな運行経路を考えたいく。山交は距離運賃のため難しいが検討していく。

**A** 各地域のまちづくり、市民センターを中心にうまく機能している。相談業務、役

所に行かず身近にある市民センターでできる職員配置できないか。

**A** 今の体制では難しい。子育ての総合相談所を楯岡につくる予定。

**Q** 危機意識が足りない。国では、山林はこれから重要と位置づけ、固定資産税の微収・譲与税を新設。その面積の根幹をなす一筆ごとの境界が確定していないのだ。分かる人がいなくなってきた。一刻も早い山林の国土調査を。

**Q** 3年前、山林の国土調査を進めるべきと質問をした。どのくらい進んだか。

**A** やっていない。進捗率9.6%だ。



みなさんの市民バス



# 百聞は一見にしかず!!



## よりよい行政のための 視察活動 レポート

### 地方創生対策 特別委員会 意見交換会

8月22日

徳内まつりを二日後に控え、何かと多忙な時期に関わらず、市商工会青年部の皆さんと意見交換会を開催させていただきました。7名の出席者の業種も多様で、幅広い話が聞かれ有意義な会となりました。

地元村山を盛り上げたいとUターンしてこられた方。帰りたい・住みたい・働きたいまちづくりから、自身の地域貢献を考えている方。若者はどう取り組むかを模索している方など、共通することは、村山市がより良くなるためにはどうすれば良いか、そしてそこに自身がどう関われるか、どう貢献できるかを真剣に考えていることでした。



活発な意見交換がなされた

地方だからこそIT活用の重要性や、情報発信と共に受信側も多様化し、発信方法がキーとなること、HPやブログ・SNSなどをどう充実させていくかなど、ITを駆使し誘客に役立っていることはさすがだと感じました。人口減少問題では、高値でも付加価値をつけサービスを充実させることが、将来の村山市にとってプラスではないかと、逆転の発想も出てきました。

商店街の今後の在り方も発想を転換してと、青年部らしい意見が聞かれ、今後市政に反映出来るようにすることが務めとなります。

### 山形県議会議員会 議員研修会

8月9日

山形ビッグウイングにおいて「政治の課題と地方の視点」という演題で、早稲田大学公営経営大学院教授（元総務大臣）片山善博氏による講演。

①地方の再生について  
「プレミアム商品券で地方創生できたのか。生活実感のない官僚が考えたことであり地方の実情に合わないことだ。地方は自分たちで考えて、自分たちの地域に役立つかどうかの視点で行動するべきである。」

②金融政策について  
「国で決めることだが影響を受けるのは地方だ。金利は自然体に合わせないと駄目、日銀ががんばらめにして銀行も疲弊している。」

### ③政治への信頼回復 について

「地方を知らない官僚や国会議員が多くなっている。中央のペースに合わせるのではなく、市民の代表である市議会が市民の声を、地域に合った施策を、地方6団体を通じて訴えていくべきである。」  
以上、地方議員が政治に向かう姿勢を研修しました。



講演する  
片山善博氏

### 議会だより 編集委員会 行政視察 8月2日

読んでもらえなければ作らないのと同じ

○埼玉県大里郡寄居町議会

寄居町議会報は29年度全国町村議会広報コン

クールにて最優秀賞を獲得。議会広報聴取委員会が28年9月に設置され、広報活動に議会全体として力を注いでいます。

なお、編集におけるポイントとして、①読み手側に立った広報②見出し・写真を見れば分かる広報③町民参加の広報④専門業者の参画、の4項目が挙げられます。

とりわけ、①については、斜め読みを可能とするために今読んでいる頁に次頁の紹介文を掲載したり、深く知りたい方のためにQRコードを掲載しています。また、③については、町民とのコラボレーションを意識。町民の写真やインタビュー記事を多数掲載し、町民が登場する紙面づくりに努力しています。

さらに、④については、全国の議会報発行を手掛ける「会議録センター」という会社が編集会議に随時参加し、

的確なアドバイスを提供しています。

こうした取り組みにより、全議員が常に取材意識を持ちながら町民の意見を拾い上げ、議会報を通じてそれら意見に対する議会の考え方を示すという枠組みを構築しています。



寄居町役場にて

### 改革クラブ 行政視察 8月26日

### タブレット端末導入に向けて

### ○寒河江市議会

寒河江市議会では、27年度からタブレット端末導入の検討会を設置。視察研修を重ね、29年度9月定例会より本格運用を開始。

導入効果としては、①資料閲覧の迅速化及び情報伝達のリアルタイム化②資料の作成・差替・送付に係る事務効率化③カラー表示による図表の明確化など

④電子化によるコスト削減⑤議会及び市関係情報の携帯による議員活動の充実・拡大、の5項目が挙げられます。例えば、①により、

議会から市への説明要求に対して「資料の持ち合わせがない」と審議が停滞する事態を回避できます。

また、④については、紙代・印刷代・人件費だけでなく、保管や廃棄経費の面でも効率化が見込まれます。

さらに、⑤により、必要なデータを瞬時に検索・閲覧が可能となり、スピード感をもった議員活動が期待されます。これらの効果に加え、災害時の情報伝達や情報共有に向けた利活用

も模索しており、村山市議会での導入検討を進めていきたいです。



寒河江市役所にて

### 市政・公明クラブ 視察研修 7月25日～26日

### ○岩手県遠野市

「永遠のにほんのふるさと」民話の里としての街づくりから、進化し続ける地域総合力で元気再生を目指している遠野市。

空き校舎をリノベーションした「遠野みらい創りカレッジ」は、市と富士ゼロックスが協働で行う地域振興活動で、地域創造に繋がる新たな価値と仕組みをつくっています。

「ローカルベンチャー



遠野みらい創りカレッジ

事業」は、生産性の高い産業や雇用の創造を指して起業を支援しています。また、起業型地域おこし協力隊は、マネジメント会社を協力隊と市の間に入れ、動きやすさを実現した参考となる仕組みでした。

### ○道の駅「にしね」 「まめでらが」

東北中央道開通後のまちづくりが本市の重要課題であり、開通に伴い道の駅移転は今後早急な議論がなされるものと思われま

す。健全経営には機動力と経営感覚が必要であり、立地や内容のみならず運営主体となる組織がとて重要であると感じました。

## 審議結果報告

(9月定例会において賛否の分かれた議案についてのみ記載しました)

議員名	議案等の名称	議決結果	市政・公明クラブ							改革クラブ			無会派			賛成	反対		
			矢萩浩次	高橋菜穂子	石澤祐一	森一弘	大山正弘	茨木久彌	海老名幸司	川田律子	中里芳之	犬飼司	菊池大二郎	結城正	菊池貞好			佐藤昌昭	秋葉新一
市長提出 議案	条例 村山市児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議	14	1
	補正予算 平成30年度一般会計補正予算	可	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	議	8	7
請願	請願1号 種子法廃止に伴う万全の対策を求める請願	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	議	8	7
	請願2号 日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	議	7	8	

正副議長及び監査委員は会派に属しません。議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

可 = 可決    否 = 否決    ○ = 賛成    × = 反対



# 議会活動

## 7月

- 1日 全国さくらんぼ居合道大会  
仙台村山会総会
- 3日 村山市議会議員OB会総会
- 5日 議会だより編集委員会
- 6日 三市一町正副議長連絡協議会
- 9日 議会運営委員会協議会
- 10日 葉山開発協議会総会
- 12日 議会だより編集委員会  
共立衛生処理組合議会運営委員会
- 13日 長島築堤工事完成祝賀会
- 16日 塩竈みなと祭
- 18日 議会だより編集委員会  
会派代表者会議
- 20日 全員協議会  
東北中央自動車道進捗状況等説明、現地視察  
財産区管理委員改選関係会議  
議会だより編集委員会  
村山市自衛隊協力会総会
- 21日 県選出国議員との懇談会
- 23日 東北市議会議長会理事会（～24日まで）  
共立衛生処理組合議会定例会
- 25日 市政・公明クラブ視察研修（～26日まで）
- 30日 北村山公立病院組合定例会
- 31日 村山市経営者懇話会通常総会

## 8月

- 1日 議会だより編集委員会行政視察（～2日まで）
- 3日 後期高齢者医療広域連合議会定例会  
改革クラブ視察研修
- 9日 会派代表者会議  
山形県市議会議長会第56回議員研修会
- 10日 総務文教常任委員会協議会
- 15日 市戦没者追悼式
- 21日 全員協議会
- 22日 地方創生対策特別委員会意見交換会
- 24日 徳内まつり（～26日まで）
- 28日 議会運営委員会  
議会だより編集委員会  
広域斎場事務組合定例会

## 9月

- 3日 全員協議会  
本会議
- 5日 一般質問
- 6日 一般質問
- 7日 一般質問
- 11日 決算特別委員会
- 12日 常任委員会・決算分科会
- 13日 常任委員会・決算分科会
- 14日 秋のバラまつりオープニングセレモニー  
地方創生対策特別委員会
- 19日 常任委員長会  
議会運営委員会
- 20日 議会だより編集委員会
- 21日 全員協議会  
決算特別委員会  
本会議
- 27日 議会だより編集委員会
- 28日 公立病院組合議会視察研修

# 平成29年度 政務活動費収支報告

## ☆政務活動費とは…

地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として会派に対して交付されるものです。本市では「村山市政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員一人当たり月額10,000円の政務活動費を交付しています。収支報告書には、領収書等を添付し、残余额は市に返還しています。

**議会ホームページで領収書も含め、  
すべて公開しております。**

H29. 4. 1～H30. 3. 31

会派名	所属議員（◎代表者）	
市政・公明クラブ	◎大山 正弘、矢萩 浩次、高橋菜穂子 石澤 祐一、森 一弘、茨木 久彌、海老名幸司 秋葉 新一、長南 誠	
交付額	執行額	返還額
1,030,000	1,030,000	0

会派名	所属議員（◎代表者）	
日本共産党村山市議団	◎中里 芳之、川田 律子	
交付額	執行額	返還額
240,000	151,014	88,986

会派名	所属議員（◎代表者）	
改革クラブ	◎菊池大二郎、犬飼 司、結城 正、菊池 貞好	
交付額	執行額	返還額
460,000	193,120	266,880

会派名	所属議員	
無会派	佐藤 昌昭	
交付額	執行額	返還額
120,000	10,000	110,000

※年度内に市政・公明クラブと改革クラブで議員数の変動がありました。  
※議長、副議長は無会派ですが、市政・公明クラブと政務活動を行っております。

## スマホやタブレットでより身近に

平成30年9月より、パソコンからの視聴に加え、スマホやタブレットから議会中継をご覧いただけます。是非ご利用ください。

平成29年度インターネット  
アクセス件数は約3,100件  
でした。



議会中継ページ  
QRコード



# 市民の声



小山隆房さん  
(大久保)

誰もが一度は、やったことのあるドッジボール。皆さんは、競技ドッジボールを知っていますか。

甌葉ドッジボールスポ少（大久保ビッグファイターズ）は、今年で27年になります。全国大会出場を目標に活動しております。

三つの感謝（練習場を貸してもらっている学校に、スポーツをさせてもらっている家族の方に、そして指導者の方に）を常に「ありがとう」の心を忘れないで楽しく練習をやっています。

練習の最後は、試合形式で親子

対決。コミュニケーションを大切にしています。

皆さんも参加してみませんか。現在、スポ少の仲間を募集中です。

また同時に社会人チームも募集しています。一度、見学に来てみて下さい。

＊練習日＊  
月・木曜日 午後7時  
日曜日 午前9時

＊場所＊  
大久保小体育館



メンバーと練習風景

## 〈表紙写真〉

9月15日、ちぐさ認定こども園の園庭にて運動会がありました。子どもたちも、ご家族も、一緒に楽しんでいました。マーチングバンドの演奏も見事でした。

◎ちぐさ認定こども園（大久保）園長：大場真智子  
ちぐさ児童センターは今年度より認定こども園となり24名の園児が通園しています。

【園児数】  
年長組 8名、年中組 8名、年少組 8名



## 議会だより編集委員会

委員	副委員長	委員長
秋葉 新一	川田 律子	石澤 祐一
高橋菜穂子	菊池大二郎	矢萩 浩次
犬飼 司		

## 議会の傍聴へお気軽においでください。市議会 12月 定例会のお知らせ

11月26日(月) 議会運営委員会／11月30日(金) 全員協議会・本会議  
12月 4日(火) 代表質問／12月 5日(水)～7日(金) 一般質問  
12月10日(月) 常任委員会／12月11日(火) 常任委員会・地方創生対策特別委員会  
12月13日(木) 常任委員長会・議会運営委員会／12月14日(金) 全員協議会・本会議  
◎本議会だけでなく全ての会議が原則公開です。お気軽においでください。  
会議の予定はホームページなどでお知らせします。  
◎インターネット中継も配信中 詳しくは、  
<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/murayama/WebView/rd/council.html>